

夏の御文

ゲノオフミ

法要

日時

6月24日(土)

午後1時30分

～3時30分

講題

「今今今 たった今

死んでも生き甲斐あったか」

ご講師

稲垣直来師(徳因寺)

ご講師からのメッセージ

拝読される『夏の御文』には、「尊い教えを聞いているにもかかわらず、感動する事もないし、解からないから教えて欲しいと問うてくる人もいないではないですか。ただただ形ばかりの宗教生活になってしまっていないませんか。感動のない事を例えるならば、鹿の角に蜂が刺したようです。また一度しかない人生なのに、歩むべき道を問い尋ねる事もない事を例えるならば、宝の山に入っているながら、何も持たずに降りてくるようなものです。全く言語道断です」と御門徒の方々の歩みを心配する蓮如上人がおられます。

講題の言葉は木村無相氏の言葉で、「この人生で良かったと言える今を生きていますか」と氏もまた私たちの歩みを問うてくださっています。誰もが人生は一度しかないことを知っていながらも、目の前の事に一生懸命で、気がつけば月日が経ってしまっているのではないのでしょうか。そのような私たちに、蓮如上人はどのような歩みを勧めておられるのでしょうか。共に尋ねてまいりましょう。